



2学期が始まりましたが、まだまだ暑い日が続いていますね。こんな日は、涼しい図書室でゆっくり過ごしてみませんか？ 新しい本もたくさん入荷しています。物語、歴史、美しい写真集など、さまざまなジャンルの本が勢ぞろいしていますよ。ぜひ気になる本を手にとってみてください。きっと、新しい世界が広がるはずです！



## おすすめの本

RECOMMEND BOOK

### 『獅子と牡丹』 1巻

高浜寛：著 リイド社：出版

天草町在住の漫画家高浜寛<sup>たかはまかん</sup>さんが描く新シリーズ！

主人公は本渡に住む29歳の富永電<sup>とみながあきら</sup>。ギャンブル依存症の父が失踪<sup>しっそう</sup>し、多額の借金返済に苦悩する日々。そんな中、同僚<sup>どうりょう</sup>のマックスから「天草四郎の埋蔵<sup>まいそう</sup>金<sup>きん</sup>」の話を聞く。

“さんしゃる二 こんたろす五  
くさぐさの でうすのたから  
しずめしずむる”

失われた天草四郎の秘宝を求めて、歴史の闇に葬られた真実を解き明かす！



## おすすめの本

RECOMMEND BOOK

### 『もしも わたしが あの子なら』

ことわさみ：著 ポプラ社：出版

周りの目が気になり自分の意見を言えないひとみ。誰もが憧れる美少女のしずか。無口で人との関わりを避けるかずこ。ある日、自動車事故をきっかけに3人の意識は入れ替わってしまう。

「もしもわたしがあの子だったら」と願っていた彼女たちは、憧れの人物になれた喜びも束の間、それぞれの日常に隠された苦悩や葛藤を知ること。外見からは決してわからない、彼女たちの本当の姿が明らかになっていく。



『獅子と牡丹』、とにかく面白いです。たくさんの資料を読み解き、取材を重ねられているからこそ、物語に深みとリアリティが生まれているのでしょうね。電とマックスが中央図書館で郷土資料を調べているシーンは、司書の最大「押しポイント」です！トンネルを通過して大江のマックスの家へ帰るシーン、今はない諏訪町の和菓子屋さん、亀場のリサイクルショップ、本渡町広瀬のコンビニエンスストア…知っている道や建物がたくさん登場するので、フィクションでありながらも、物語を身近に感じられます。作者のコラムを読むと、その制作過程が垣間見え、さらに作品の世界に引き込まれます。ぜひ読んでみてください！



【9月の移動図書館いるか号巡回日】 9月11日(木)

